

令和8年度 健康こども部運営方針

部局名 : 健康こども部

部局長名 : 藤原 弥栄

基本方針（政策目標）

深刻化する少子化や複雑・多様化する子育て課題に対し、経済的支援の着実な実施と、一人ひとりに寄り添った伴走型相談体制の定着を図ります。妊娠期から出産・子育て期にわたり、家庭の状況に応じた切れ目ない支援の充実を図り、地域全体でこどもの成長を支え、誰もが安心して生み育てることができる環境づくりを推進します。

また、「健康づくり推進条例」の基本理念に基づき、食育や健康づくりを「自分事」として実践できる環境を整備し、市民のQOL（生活の質）のさらなる向上を図ります。官民連携や市民共創による取組を深化させ、ライフステージに応じた健康課題の早期の気づきと解決に向けた多様な選択肢を提示することで、未病予防及び改善に向けた社会機運を醸成します。

① 新たなファミサポ『短時間預かり”ぷっち”』を開始

地域住民による育児の相互援助活動を行うファミリーサポートセンター事業（ファミサポ）をより使いやすくするため、アドバイザーがいる場所での短時間預かり「ぷっち」を開始し、子育て中の保護者が安心して利用できる環境づくりを推進します。

② 若者の意見を施策に反映

こどもや若者の最善の利益を考える「こどもまんなか社会」の実現に向け、こども・子育て支援施策を審議する「子ども・子育て会議」に、わかもの委員を新たに委嘱し、当事者ならではの視点から様々な意見をいただき、施策に反映できるよう取り組みます。

③ 子育ての安心を届ける情報発信

子育て世帯が安心して外出できるよう、市内で授乳や搾乳、おむつ替えなどができる「あかちゃんの駅」をより分かりやすくするため目印となるステッカーをリニューアルするほか、子育て支援施策を横断的に周知するパンフレットやおやこ広場一覧を一新し、安心して子育てができるまちとして広く周知を行うことで、子育て世帯の定住促進をめざします。

④ 市独自の子育て支援の進化

- ・市独自事業の専門職による家庭訪問と、育児用品等と交換できる5万円相当のポイントを支給する「にこにこベビー訪問（7か月児訪問）」において、地域資源を活かした交換商品を拡充し、出産・子育て支援の充実だけでなく、本市へのシビックプライドの醸成や地域経済の活性化に取り組みます。
- ・妊婦へ毎月10kgの栄養価の高いお米を提供する「マタニティ応援プロジェクト」を継続実施し、妊婦と生まれてくる赤ちゃんの食による健康増進を図るとともに、最終検証結果を活用し、妊産婦の健康リテラシー向上を推進します。

⑤ 5歳児健康診査を開始

満5歳になるこどもを対象とした5歳児健康診査を令和8年4月から新たに実施します。健診の実施により、こどもの発達の特性を早期に把握し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣などの必要な指導を行うことで、学童期に向けた切れ目のない支援の充実に努めます。

⑥ 施設再編、認定こども園化の推進

「泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画」に基づき、施設再編と認定こども園化を推進します。穴師小学校区の施設再編では、要保育所を建替え新たな認定こども園を運営する事業者と令和12年度の新園舎オープンに向け、円滑な認定こども園移行のための協議を進め、就学前教育・保育環境の一層の充実を図ります。

⑦ 就学前施設での食育活動の推進

～食べることは生きること、作る力は生きる力～をテーマに就学前施設での食育活動を推進します。食についての豊富な知識と実績を持つ食育アドバイザーの監修のもと、こどもたちが出汁づくりから料理を作って食べる体験を行う「にじいろクッキング」の実施や日本食の伝統食材である乾物や味噌を使用した保護者向け調理体験である「きがるにクッキング」の実施を通じて食育活動の推進に取り組むとともに、給食食材には栄養価が豊富な金芽米やオーガニック食材を積極的に取り入れ、給食内容の充実を図ります。

⑧ こども誰でも通園制度の実施

こどもの育ちと保護者の多様なライフスタイルに対応した新たな支援として0歳6ヶ月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを対象とした「こども誰でも通園制度」を市内保育所1カ所、認定こども園2カ所で開始します。

⑨ 就学前教育・保育施設の魅力の発信

令和8年4月に民間認定こども園2園を新設しました。新設園を含めた市内の認可保育施設は、公立、私立を問わず、保育内容や保育環境について魅力ある独自の取組を進めております。これらの就学前施設の魅力を紹介するパンフレットを作成し、市内外に積極的に発信します。

⑩ 泉大津版未病予防健診の推進

未病予防対策を主体的に取り組むことのできる環境づくりとして、市独自の「泉大津版未病予防健診」を実施します。本健診では、女性の更年期症状などの改善に向けた「エクオール検査」や、免疫力の向上及び未病改善に向けた「腸内フローラ検査」を実施し、女性の健康課題解決をはじめ、病気になる前の未病の段階から、心身の状態を整える取組を推進します。あわせて、検査結果の解説動画の配信や、エクオール産生を高める大豆を使用したワークショップ（マイ醤油づくり）等を開催し、実践的な健康づくりをサポートします。

⑪ ライフコースアプローチ（※）を見据えた食育の推進

食は生きる上での基本であり、生涯にわたって「食を選ぶ力・作る力・食べる力」を育むため、親子で参加できる腸活講座や野菜づくり、収穫体験などを通じて、将来の疾病予防につながる食育の取組を推進します。

※ライフコースアプローチ：胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり

⑫ 健康ラボ ～測る・学ぶ・相談する～

シーパsparkを拠点に、アプリを活用した健康チェック、薬膳や温活をテーマにしたワークショップ、呼吸法やヨガによるからだのコンディショニング、未病予防相談など、多様なプログラムを展開します。これらを通じて、市民の主体的な健康づくりを支援し、ヘルスリテラシー及びQOL（生活の質）の向上を図ります。